

練馬区職労の提案で実現した防災訓練の様相(2004.6.27)  
 一障害のある人もない人も、日本人も外国人も一緒に訓練一



訓練に参加する地域住民(延べ600人参加)



炊き出し訓練 防災用パーナードで豚肉のカレーとパングラデ  
 シュの人の指導により鶏肉のカレーの2種類を用意



スケルトン清掃車によるデモンストレーション



防災用トイレが車椅子利用障害者にも使用できるか検証



煙のトンネル体験「姿勢を低くして」



訓練の講評を聞く体験者

区職労の呼びかけで参加した障害者団体の「練馬区介護人派遣センター通信」より(参加者の感想) →

防災訓練に参加しました!

「防災訓練に参加しました!」連日暑い日が続いた最中の6月27日、雨もなんともってくれて、暑さもゆるんだ梅雨の中休みの中、大泉小学校を会場として行われた「地域防災訓練」にセンターからはユッキーこと佐藤、チノッピーこと千野、そしていつも当センターにご協力頂いている猪熊さんという3人の障害者の方と介護者にて参加させて頂きました。

形としてはまず災害(地震を想定)が起きて、自分の住んでいるエリアの避難場所である大泉小学校へ到着したところから始まります。緊急用の簡易トイレを障害者が利用できるか、学校内、外での車いすでの歩行の方法実習、視覚障害者の体験、高齢者の体験(身体に自由を減らす器具を取り付けます)、また起震車といってトラックの荷台に小部屋を設けて、それで設定した震度で揺れて地震を体験できるものです。

これには猪熊さんも参加!フトツョの私(溝淵)にはちょっと辛い姿勢でしたが、猪熊さんは机の下にうまく隠れられて、地震を楽しんで(苦笑)いたようにも…障害者プロレスのレスラーでもある猪熊さんにとっては何のこともなのかもしれません…(失礼)しかし今回の体験は「地震が起きる事がわかっている状態」ですので、いきなり起きた時には震度7ではとても対応できない事はよくわかりました。また車椅子の人が机の下に隠られられませんので、ヘルメットを用意する等の対策が必要だと痛感致しました。そしてさらに煙体験室も設けられていました。これはビニール製の

簡易ハウスの中に無害の煙を充満させてその中を通過して前が見えない中での移動の体験が出来るものです。しかも中が迷路というかジグザグに作られていて、全く前が見えない中での移動の難しさがよくわかりました。「姿勢を低く!」と言われましたが、車椅子ではそれにも限界がありますし、押す方も難しいです。これも課題として残りました。

その他は消火器の放水体験や非常用のお米を使った2種類のカレーを昼食時に振る舞って頂いたりで、勉強にもなり、また楽しい(実際の災害ではないからですが)訓練?となりました。災害時には課題山積ではありますが、百聞は一見に…のことわざ通り、体験しておけばいざというときに落ち着いて行動出来ることは間違いなく感じました。また実際に自分のエリアの避難場所の把握と、そこへ行ってみる事の重要さもわかりました。ユッキー、チノッピー、猪熊さん本当にお疲れさまでした。そしてお世話になった、消防庁の方々、区職員、地域のボランティアの方々ありがとうございました。

